

1月26日（月）

1月24日から1月30日までの1週間、**全国学校給食週間**がスタートしています。

学校給食は明治時代、山形県の鶴岡市というところでお昼ごはんを持って来られない子どもたちに、おにぎりと漬物を用意したのが始まりです。その後、少しづつ全国に広まった給食ですが、第二次世界大戦という大きな戦争があったために中止されてしまいました。戦争が終わった後、ユニセフという国際的な支援団体により、パンと脱脂粉乳の給食が再開され、栄養不足の子どもたちを救いました。これを記念して、**全国学校給食週間**が始まりました。今は、豊かになった日本ですが、昔を振り返り食べものに感謝したり、食生活を見つめ直したりする1週間が**全国学校給食週間**です。

きょうは、**全国学校給食週間**を記念して、昔の給食を再現したおにぎり献立です。約900個のおにぎりを、給食室で1つ1つ調理員さんが握って作りました。大変な思いをして作ってくれた調理員さんのためにも、残さずに食べましょう。